

(議長)

日程第13 一般質問を行います。

今定例会の一般質問は、お手元に配付のとおり7名の議員から通告がありました。通告順にしたがって、順次これを許可します。

まず、萩原議員の発言を許可します。

「萩原議員」

「萩原議員」

質問いたします。

「孤立死対策について」

札幌市内の40代の姉と知的障害がある妹が孤立死した問題をめぐり、北海道は、北電やガス事業者へ供給を打ち切る際、勘案すべき事情がある生活困窮者かどうか、事前に市町村との間で情報を共有できる仕組み作りに向けて検討に入っています。個人情報の保護など課題がありますが、江差町の考えをお聞き致します。

(議長)

「町 長」

「町 長」

萩原議員から孤立死対策のご質問でございますが、札幌市の姉妹の出来事ばかりでなく、最近同じ様なケースが多くある訳でありまして、心が痛む思いでありますけれども、これまで生活保護申請や障がい者相談支援事業所とも連絡を取っておりましたが、最終的に助けを求めなかったと、他人に迷惑を掛けられないという思いは特にお年寄りには共通した感情があるようであります。高齢者・障がい者の方々への相談、支援機能の重要性・必要性の意を強く持っております。

先程の執行方針でも述べましたが、改めて地域全体での一人暮らしの高齢者等の見守りや相談支援の充実を図り、地域福祉計画や障がい者福祉計画における各種福祉サービスの向上を広く地域に周知して参りたいと思っております。事業者との連携についてでありますけれども、地域で展開している事業者の中においてもそれぞれが特性を活かして、地域福祉の推進における責務と役割を果たしていくことが必要と考えております。難しい面もありませんけれども、どのように情報が共有でき、どのように取り組めるか、北電そして燃料店、新聞販売所など事業者の皆さん、そして民生委員、社会福祉協議会等との会議を開催して協議して参りたいと思っております。以上です。

(議長)

「萩原議員」

「萩原議員」

「インターネット等によるいじめ対策について」

学校裏サイトであるとか、手軽に自己紹介できるブログと呼ばれるサイト等、携帯電話やパソコンのインターネットを通じての書き込みによるいじめが報道されており、また江差町の中学校でもあると聞いております。これら携帯電話やパソコンのインターネットによるいじめについて実態をどの程度把握しているのか。また、どのような対策をとるのかお聞き致します。

(議長)

「教育長」

「教育長」

萩原議員からの「インターネット等によるいじめ対策について」の関係を私の方からご答弁させていただきます。

まず、いじめについての実態把握でございますけれども、学校におきましては様々な機会がいじめについての実態把握に努めておりますけれども、その中で小学校においてはインターネット等による、所謂いじめは無いものと考えています。しかしながら、中学校においては携帯電話のメールやパソコンのインターネットを通じてのトラブルの例はありますが、本人になりすまして嘘の登録などの悪質ないじめの事例や学校裏サイトは無いものと考えております。小学校も中学校も携帯電話は学校に持ってこない事を原則としておりますので、携帯電話やパソコンが使用されるのは基本的に家庭内が中心になっているものと思っています。

ネットいじめの特異性でございますが、議員も御承知のとおり携帯電話のメールのやり取りによるものから進化を致しまして、1つは匿名のもとで行われる。2つ目は非常に短い時間で広がっていく。3つ目はいじめている相手が分かりづらい、直接的でない為にいじめている側の認識も薄い。4つ目として学校の管理外で発せられて学校が非常に関与しにくい。5つ目は子供達の中に親が過剰に反応して、携帯電話やパソコンを取り上げられることを心配して親にいじめを話さない。6つ目としては、いじめにあっては特異な為根本回復の為の対処方針が難しいと、このようにされている訳でございます。これらの対応の為に、中学校におきましては学校独自の定期的なネットパトロールを実施し

て道教委や関係教育課による情報収集を受けておりますけれども、これらからは悪質なじめに繋がるものはみつかってはおりません。しかし、**プログ**と呼ばれる非常に簡単に出来る自己紹介サイト等で明らかに個人情報が流出している場合などは、その都度、個別指導を実施しております。

また先程も説明いたしましたけれども、インターネットへの接続が家庭内に起因していることから、より保護者に対して理解を求めるために、警察などの外部講師を呼んで児童生徒や保護者に対する講習会を実施しているほか、フィルタリングなどの防止策、携帯電話等の使用方法の指導など、参観日や学校だよりなどあらゆる機会を通じて周知徹底しているところでありますし、児童生徒へも学校のパソコンを使用する際や、あらゆる機会を通してマナーや被害に遭わない為の指導を実施しております。

教育委員会としましては密室性が高く対処方法が難しいと理解しておりますけれども、学校と保護者、学校と児童生徒、保護者と児童生徒、それぞれの連携を密接にしなければなりません。これまでの予防対策とその都度の指導を強めていくことで対処していきたいと考えておりますので、ご理解を頂ければと思います。

(議長)

いいですか。

以上で、「萩原議員」の一般質問を終わります。